

令和3年度

市長との地域づくり懇談会



富田地区における
防災の取組と課題

令和3年11月25日(木)19:00

富田地区市民センター2階ホール

富田地区の現状

- 富田地区連合自主防災隊は、富田地区連合自治会のもと55自治会の自主防災隊で構成され、災害防止と被害の軽減対策を目的に活動。
- 富田地区は沿岸部にあり、全体的に海拔が低いため、大津波、高潮、大雨による浸水リスクが高い。
- 高齢化が進んでおり、独居老人あるいは高齢者二人世帯が多く、避難所への避難には支援が必要であり、時間も要する。

富田地区連合自主防災隊の取組

- デジタル簡易無線機の習熟訓練
1-2-3ステップで扱い方から実戦での使用訓練



ステップ1 無線機の基本



ステップ2 交信の基本



ステップ3 訓練での使用

富田地区連合自主防災隊の取組

- 各町での防災訓練の実施
 - ・ 東富田地区での防潮扉開閉訓練
 - ・ 北觴地区での初期消火、AED操作訓練、放水訓練



富田地区連合自主防災隊の取組

- 富田小学校での防災教室
消防団、自主防災による出前講座と放水体験



富田地区連合自主防災隊の取組

- 富田地区総合防災訓練の実施
「コロナ禍における避難所開設・運営訓練」

令和3年10月24日(日)



富田地区連合自主防災隊の取組

○ 女性防災隊「ひなた班」の取組

- 県立北星高校が指定避難所となっている女性が、避難所生活がより快適に、ストレスをより小さくするにはどうしたらいいかなどを、自主的に検討する取り組みを始めた。
- 今年9月には、第1号となる「ひなた班だより」秋号を富田全地区で回覧。防災倉庫の備蓄品を紹介し、避難時の持ち物、非常食の情報を提供。
- 災害時の要配慮者のために備えるべき備蓄品を検討中。

富田地区指定避難所の現状



○ 富田地区内の指定避難所

地区市民センター(海拔2.0m)

富田小学校(海拔2.0m)

富田中学校(海拔1.4m)

四日市高校(海拔2.4m)

北星高校 (海拔3.5m)



富田地区の防災上の課題

- 指定避難所は、いずれも浸水区域にあり、浸水後に避難することはできない。
- 指定避難所に避難ができて、浸水すれば一定期間閉じ込められる恐れあり。
- 東富田地区から避難所まで1kmあり、高齢者等には避難が困難。
- 安全に誰もが避難できる場所の確保が必要

東日本大震災後の県内各市町での取組

- 県内の各市町で津波避難タワーの設置が進んでいる。
伊勢市、松阪市、川越町、木曾岬町、
明和町ほか鈴鹿市では民間整備の避難
タワーの使用協定締結
- 楠町では、新たに整備した排水ポンプ場
2か所の屋上を津波避難所として利用(あわせて900名利用可)
- 桑員地域においては、2市2町で広域避難協定締結
木曾岬町等から、いなべ市、東員町に避難



富田地区の課題解決について

- 東富田町、富田浜元町、富田浜町への
津波避難タワーの設置
- 防災サイレンの空白地域の解消
緊急告知ラジオ、防災アプリを補完し、直接伝える
- 浸水区域外への避難に関する取り組み

ご清聴ありがとうございました。

富田地区連合自主防災隊
隊長 渡部 悟